

豊丘中学校

学校だより

高志生輝丘



令和5年8月30日

No.7

85日間の2学期スタート

27日間の夏休みを終え、学校に生徒たちの明るい声に戻ってきました。この夏は、連日猛暑の夏休みでしたが、大きな事故や病気、けがなどがなく、元気に安全に過ごすことができたようです。これも保護者の皆様、地域の皆様のおかげと感謝いたします。ありがとうございました。85日間の2学期がスタートしました。今学期もご支援ご協力よろしくお願いたします。



2学期始業式 学校長挨拶

この夏休みは、熱中症で救急搬送される人が多い「猛暑」であった一方で、突然の豪雨による災害もある不安定な気候でもありました。また、毎日の様に、川や海で起こる水難事故や、交通事故のニュースが聞こえてきました。その度に、「昨日までは、自分には関係ないと思っていた事故や事件」に突然巻き込まれてしまった人や、ご家族の驚きと無念さを思わずにはいられません。

まずは、1学期の終業式に約束した様に、みなさんが今日、無事にここに集まることができたことに感謝したいと思います。

さて、毎年夏休みには、お盆に今は亡き人のことを思う機会や、戦争と平和について考える機会があります。今年も8月6日には、広島で平和記念式典が行われました。その様子をテレビ等で見た人はいますか？この中で6年生が「平和への誓い」を発表しました。これは被爆50周年であった28年前から始まったもので、毎年、広島市内の6年生が作文を書き、その中から選ばれた20人でまとめた作文を、代表の6年生が世界へ向けて発表するものです。

世界をみると、今も戦争や紛争で命が失われていることをみんなが知っているのに、多くは自分ごととして考えることができにくいと思います。突然、大切な家族が事故に遭ってから命の大切さに気づく様に、自分ごとで考えるのは難しいかもしれません。ましてや、バトル系のゲームの世界で撃ち合いをする仮想空間にいる時間が長い人は、現実社会で起きていることをどのように感じるのでしょうか。

豊丘中学校では2年生が平和学習をします。豊丘村でも毎年平和学習を行い、今年は2学期に2年生にも参加してもらう計画があります。私は、今年の「平和への誓い」を聞いて、6年生の言葉一つ一つが心に残りましたので、皆さんに紹介したいと思います。ここで、一緒にあなたにとっての「平和」とは何か、考えてみてください。

【平和への誓い】

みなさんにとって「平和」とは何ですか。

争いや戦争がないこと。

差別をせず、違いを認め合うこと。

悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。

身近なところにも、たくさんの平和があります。

昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。

耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親。たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のみちは破壊され、悲しみで埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか。」

仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、生きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

あれから78年が経ちました。今の広島は、緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。

「生き残ってくれてありがとう。」

命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。私たちにもできることがあります。

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。

友だちのよいところを見つけること。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いを一つにするときです。被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。

令和5年（2023年）8月6日

こども代表 広島市立〇〇小学校 6年 〇〇〇〇

広島市立〇〇小学校 6年 〇〇〇〇

広島の6年生からの3つのメッセージをもらいました。

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。

友だちのよいところを見つけること。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

この2学期には、自分を育てるために、また、周りの人を温かな気持ちにするために、自分にできることに取り組んでみましょう。みなさんの言葉や行動が、身近な「平和」につながっていくものと確信し、先生たちみんなと一緒に考えていきましょう。

夏休みの様子より



サマースタディー



部活動



生徒会活動

夏休み中も、学校では、サマースタディー、部活動、生徒会活動（文化祭準備）、高校体験入学（3年生）等、多くの活動が行われました。地域のボランティア活動にも、大勢の生徒の皆さんが参加したと聞いています。夏休みだからこそできる体験を通して成長できたことでしょう。送迎やお弁当の準備等、お家の皆様のご協力もありがとうございました。

堀本結愛さん（1年）水泳女子200m平泳ぎ 北信越大会（金沢市）で大活躍！
県代表として出場した北信越大会。2分46秒66という好タイムで6位入賞。力強い泳ぎで最後までよく頑張りました。おめでとうございます。

3年生「実力テスト」

2学期がスタートした翌日の23日（水）に、3年生第1回実力テストが行われました。1学期までは「復習テスト」でしたが、2学期からは「実力テスト」です。範囲も広く、高校入試に備えた問題となります。夏休み中の学習の成果を生かし、真剣に問題に向かう表情、鉛筆の音だけが響く静まり返った教室に、進路実現に向けた3年生の意気込みが伝わってきます。これからは毎月1回行われるテストで自分の良いところと課題をつかみ、対策を立てて力をつけていってください。



1年生「読み聞かせの会」

24日（木）、1年生対象に、読み聞かせ団体ハイジの会代表下沢洋子さん（元上郷図書館館長）をお招きして読み聞かせの会を行いました。物語や昔話を読んでいただく中で、様々な言葉に出会いました。お話にしっかりと耳を傾けられる、1年生の姿勢も大変素晴らしかったです。読書にも興味を持ってほしいと思います。



地区防災訓練 中学生もお手伝いします

28日（月）、原・木門地区役員の皆様が来校されました。今週末の地区防災訓練で行われる簡易テントの設営を中学生にも手伝ってもらいたいとのことで、同地区の生徒が設営方法を教わりました。防災訓練に運営側の立場に立って参加することで、中学生なりの地域貢献ができればよいですね。



「光 2023」（校庭）

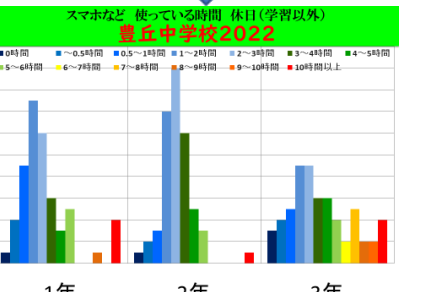
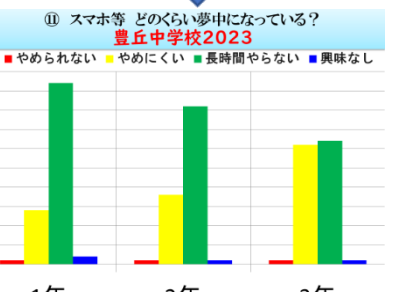
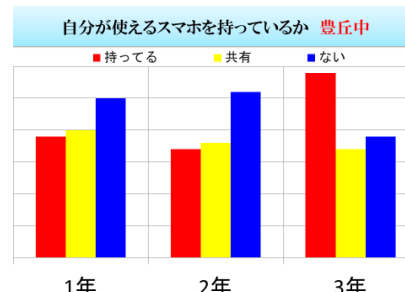
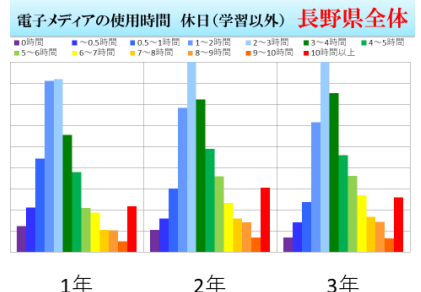
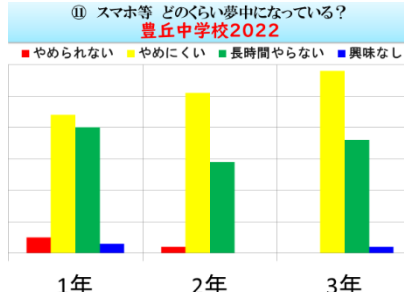
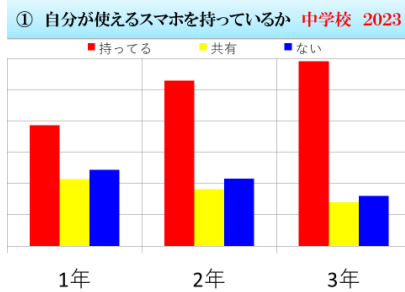


「光」（中庭）

毎年、用務技手の林芳美先生が、草刈りや花で文化祭のテーマをデザインしてくださっています。今年のテーマは「光」。音楽会、生徒会企画、学年発表等、文化祭に向けた準備も本格化します。

情報端末とのつきあい方 豊丘中学生アンケート結果考察

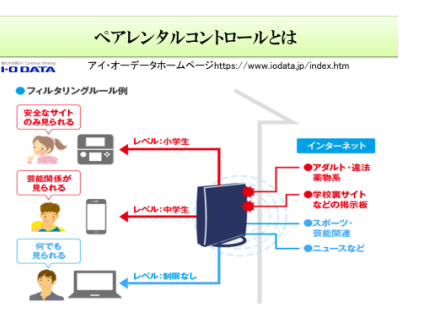
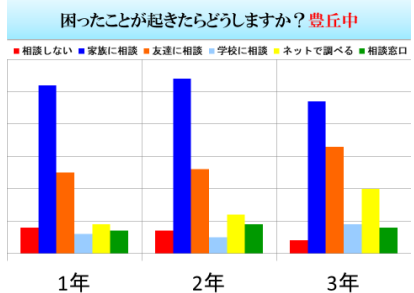
夏休みに入る直前の7月末、「子どもとメディア信州」代表の松島恒志さんを講師にお招きして「情報端末との上手なつきあい方」について、全校で講演をお聴きしました。長野県内77全市町村の中学生が参加したアンケートのいくつかを紹介します。グラフが白黒印刷で分かりづらいかもしれません。短い解説を加えます。



「自分のスマホも持っているか」県と豊丘中の比較です。全学年「親との共有」「持っていない」の割合が県よりも高いことが分かります。

「どのくらい夢中になっているか」昨年度と今年度の豊丘中の比較です。全学年「やめにくい」が減り、「長時間やらない」が増えています。大変よい傾向であり、全県教育関係者対象の研修会でも、先日紹介されました。

「休日の学習以外での使用時間」県と豊丘中の比較です。全学年6時間以上の長時間使用の割合が低く、左のグラフにある「長時間やらない」の結果とリンクしていることが分かります。



「困ったことが起きたらどうしますか」豊丘中の結果です。全学年「家族に相談」が最も高いことが分かります。学校ももちろんですが、ご家庭で相談に乗ってあげてください。

「スクリーンタイム」「ペアレンタルコントロール」スマホ依存、ネット依存にならないように、時間制限や閲覧制限がかけられるソフトも紹介していただきました。まだ加入されていないご家庭もあるかと思います。いかがでしょうか。

ご家庭におかれましても、「我が家のネットルール」につきまして改めてご指導いただければ幸いです。